

荒尾に春の到来を告げる純白の梨の花が市内各所で咲き誇り、このまちに豊かな彩りを添えています。

さて、市長に就任してやがて2ヶ月半。これまで多くの市民の皆さんの支えをいただきながら、無我夢中で走ってまいりました。

日々の業務を通じて、荒尾市が抱える課題の多さを改めて知り、とにかく前を向き、一歩一歩着実に解決に向け、進めて行かねばと決意を新たにしているところでございます。

私の市政に対する基本的な方向性、目標は志高く、市民の皆さんと共に「全国有数の魅力あふれるまち」といわれるような荒尾市を築いていきたいと考えています。

荒尾市は九州の要に位置し、比較的災害も少なく気候

も温暖です。それだけとって全国有数の住みやすい場所です。地域のために頑張る多くの市民の皆さん、さらに山紫水明にも富み、万田坑、荒尾干潟、荒尾梨、有明海、海苔や小代焼など世界や全国に誇れるような宝がたくさんあります。それらを磨き、本物にまで高めていきたいと考えています。

そのため、私は市政の基本姿勢として「市民中心」「今ある資源を生かす」などを念頭に置きながら、次の4つの柱を掲げて進めてまいります。

1つ目は「市役所を真に役に立つ所」に育てていくことです。職員一人一人が公務員の原点に立ち返り、市勢の発展や市民の皆さんの幸福の増大のために何ができるかを常に考え、実践できるように、職員の意識改

革や職員研修の充実に取り組んでまいります。2つ目は「住みよい荒尾を目指して」です。本市は総合的な住みやすさが強みなので、今後も住宅都市として、さらに住みよいまちへと磨いていきます。3つ目は「稼げる荒尾、活気のある荒尾を目指して」です。有明海沿岸道路の三池港ICが形状変更され、荒尾競馬場跡地まで整備されることが決まりました。跡地などを有効に活用していきたいながら、産業・観光などあらゆる面で地域経済の活性化につなげてまいります。4つ目は「人材を輩出する荒尾を目指して」です。

革や職員研修の充実に取り組んでまいります。

2つ目は「住みよい荒尾を目指して」です。本市は総合的な住みやすさが強みなので、今後も住宅都市として、さらに住みよいまちへと磨いていきます。

3つ目は「稼げる荒尾、活気のある荒尾を目指して」です。有明海沿岸道路の三池港ICが形状変更され、荒尾競馬場跡地まで整備されることが決まりました。跡地などを有効に活用していきたいながら、産業・観光などあらゆる面で地域経済の活性化につなげてまいります。

4つ目は「人材を輩出する荒尾を目指して」です。

⑩有明地区の取り組み



写真提供：西村誠さん

有明地区には国際的に重要な湿地としてラムサール条約湿地に登録された荒尾干潟があります。市の鳥・シロチドリなどの飛来地でもあり、渡り鳥のオアシスとなっています。

有明地区協議会では住民の親睦・融和・福祉と健康の増進を図り、長寿者顕彰などに取り組んでいます。また、有明元気づくりでは堤防壁面の制作などを行っています。



本村廣範 Honmura Hironori ほんむら・ひろのり 昭和16年生まれ。南増永区在住。南増永区区長。行政協力員。市自衛隊父兄会地区長。趣味は海の散策とスポーツ観戦

地域の声聞き 一つ一つできることから

有明地区協議会 副会長 本村廣範さん

有明地区は昔からの顔見知りの住民も多く、互いに協力し合っている地区です。地区協議会では、地区内の各種団体と力を合わせて、明るく住みよい地域づくりを行っています。以前は南荒尾駅にトイレがなく、不便でした。そのため、地区の団体と連携して要望活動を行い、3年前にトイレを設置することができました。駅の利用者などに好評です。うれしく思います。これからも地域の声を聞き、地区協議会会長を先頭に役員が一丸となって、一つ一つできることから進めていきます。特に自主防災組織で独自の連絡網を作り、災害時に隣同士つながり助け合えるようにしていきたいです。また、少子高齢化に向けた取り組みにも力を入れていきたいと考えています。

有明地区協議会 スポーツ推進委員 古城義郎さん

スポーツを通して 体も心も元気に

有明地区協議会では多くのスポーツ行事を開催しています。ことしの歩け歩け大会では、例年とコースを変更し、有明公園から有明海の海岸線沿いを歩きながら、参加者全員でゴミ拾いをしました。今後コース近くに野鳥観察や干潟保全活動の拠点であるピジターセンターができる予定です。地域の環境や施設を活用し、たくさんの方に有明地区の良さを改めて知ってもらえたらと思います。親睦体育大会では、地区全体の住民同士で競技を楽しんだ後、行政区ごとに地元で親睦会などを行っています。スポーツを通して、住民が健康保険などに頼る必要がないくらい、体も心も元気であってほしいと思います。今後多くの人にスポーツに親しんでもらうため、活動していきます。



古城義郎 Kojoyo Yoshirou こじょう・よしろう 昭和37年生まれ。蔵満区在住。農業委員会会長。市スポーツ推進委員協議会副会長。農産物直売所「ありあけの里」組合長



1 荒尾干潟。単一干潟として国内有数の広さを誇ります。豊かな生態系もあり、鳥獣保護区特別区に指定されています。2 行政区対抗の体育大会。各世代に出場機会があるので、みんな楽しんでいます。3 有明ふれあまつり。多くの人でにぎわい、世代を超えて住民の親睦を深めました。昨年度で開催10回目を迎えました



荒尾市長 山下慶一郎 やましたけいいちろう